

## 入学式

4月10日(月)に平成29年度入学式が行われました。真新しい制服に身を包み、大きな期待を胸に196名の新入生が誕生しました。

ご来賓の下野市教育委員会 永山伸一委員長からの告示では、ノーベル平和賞を受賞したカイラシュ・サティヤルティさんの来日講演の内容から「世界には、当たり前



に教育を受けることができず労働力として扱われている子どもたちが、一億七千万人もいる。」「大きな夢を持って欲しい、自分の力と、何か周囲にできることを見つけて欲しい。そして行動を起こして欲しい。」「そのための『三つのD』・ドリーム(夢見て)・ディスカバー(発見して)・ドゥ(実行せよ)」そのディスカバーの話の中で、「学校は学ぼうと思う者には何でも与えてくれる空間。しかし、皆さんが求めなければ、学校はただの建物に過ぎず、先生方も、ただのうるさい大人にしか見えない。『宝物は見ようとする者にしか見えぬ、貴重な教えは、聞く耳を持つ者にしか聞こえない』」というお話がありました。人に命じられて勉強や運動をするのではない。まさに、本校のビジョンとする「生徒も先生も、自ら輝く学校」に通じるお話でした。

また、「新入生誓いのことば」では、代表の今泉碧斗さんが「小学校6年間では言われたことを守り、勉強や運動をこなしてきたが、中学校ではそれにプラスして、自分で考え、目標を持って行動したい。」と力強く抱負を述べました。

学校は基本的な事を学ぶ「黄金の三日間」が終了し、今週は教科担任による授業、各部活動での活動も本格的に始まりました。196名、一人ひとりにとって有意義な3年間になるよう誠心誠意努めて参りたいと思いますので、新入生の保護者の皆様にはご協力をよろしくお願いいたします。

## 学校ホームページについて

今年度も石橋中学校ホームページの充実を図っていきます。学校からの各種お知らせや学校行事等を中心とした日ごろの生徒達の活躍場面など主な出来事を定期的にアップしています。

また、インフルエンザなどの感染症に罹ったとき復帰するために必要な「治癒証明書」等もPDFファイルとしてアップしていますので、どうぞ有効にご活用いただきたいと思います。

## 学校ホームページアドレス

[http://www.school.shimotsuke.ed.jp/j\\_school/ishityu/](http://www.school.shimotsuke.ed.jp/j_school/ishityu/)

# 平成29年度学校経営方針

下野市立石橋中学校

## 1、学校教育目標

- ・自ら学び、創造性豊かな人間
- ・品性があり、心豊かな人間
- ・心身ともに健康で、社会に貢献できる人間

## 2、目指す学校像

時を守り、場を清め、礼を正し、笑い・感動・夢のある元気な学校

- ① 生徒一人ひとりが嬉々として登校する学校
- ② 生徒が主役となって活動している学校
- ③ 安全で安心できる環境の学校
- ④ 保護者や地域から信頼される学校
- ⑤ 教職員が生きがいをもって活動している学校

## 3、目指す生徒像

- ① 意欲的に学習に取り組む生徒
- ② 思いやりのある生徒
- ③ 健康で、たくましい生徒

## 4、本校のミッション

**「夢と希望をもって、力強く生きる生徒を育てる」**

## 5、本校のビジョン

**「生徒も先生も、自ら輝く学校に」**

## 6、推進の鍵

**「学び 挑戦 謙虚 笑顔」**

## 7、経営の基本方針

恵まれた教育環境のもと、教育の原点「教え、育てる」ことを大切にし、同僚性を根底とした教職員の資質・能力の向上を図りながら、地域の学校という認識の持ち、全教育活動において家庭はもとより、小・中、地域社会、関係諸機関等との「つながり」を意識して、学校教育目標の実現に努める。

## 8、学校経営の方針

- (1) 生徒が「自ら学ぶ授業」を実践し、基礎学力の定着と向上に努める。(知)
- (2) 豊かな心と品性を備えた生徒の育成に努める。(徳)
- (3) 基本的な生活習慣を身につけ、体力を向上させる生徒の育成に努める。(体)
- (4) 通常の学級における特別支援教育の充実に努める。
- (5) 学校行事(五大大行事)を通して、本校ならではの伝統の良さを味わわせると共に、次のステップへの意欲付けを図ることを通して積極的な生徒指導に努める。
- (6) 家庭・地域と連携して開かれた学校づくりに努める。

## 9 本年度の重点及び具体策

- (1) 学ぶ意欲を高め、自ら学習に取り組む生徒を育成する
- (2) 道徳や五大大行事を通して規範意識を高め、協調性や思いやりのある生徒を育成する。
- (3) 進んで体力の向上や健康管理、安全管理ができる生徒を育成する。
- (4) 積極的に挑戦する生徒を育成する。
- (5) 郷土の文化や伝統・自然に誇りを持ち、進んで社会貢献できる生徒を育成する。